

事業報告書

フリーダム創生 生活介護「シオンの家」

山口 泰央

平成 29 年度利用者定員 23 人

実利用者数 528 人 (内、車いす 382 人)

平均利用人数 24.1 人

退所者 2 名

職員数 管理者 1 名、サビ管 1 名、看護師 1 名、医師 1 名、
生活支援員 16 名(内、非常勤 2 名) 合計 20 名

【現在の状況】

H29 年度の事業計画で 1 名以上の新入職員を目標に掲げていた通り、昨年度では 3 人の新職員を迎えることが出来ました。しかし、2 名の退職があった為、以前同様、職員配置基準に関してはギリギリの状態であります。

そのような中でも、スタッフ一同話し合い下記の目標を掲げ、ご利用者の方に何の支障もなく作業が出来るように支援いたしました。

【支援目標及び支援、効果】

1. 地域交流の拡大

中学生や学校教師の体験実習の受け入れや、支援学校、老人施設、専門学校などでの販売を通して地域交流を図りました。その結果、作業所でどのような活動をしているのか、また、障害者の理解も深めていただくことが出来ました。そして、障害者の方が利用されている他施設、また家族様との連絡を取ることで、ご利用者が不安なく生活ができるように努めました。

2. ご利用者の意思尊重

ご利用者がやりたいこと、訴えがあればしっかり話を聞き、本人が何をできるのか、できないのかを話し合った上で最善の方法を提供しました。そうすることで、負担なく目標を持つことが出来、仕事にも意欲を持つことが出来ました。

3. 利用者安全の確保

ミーティングなどでしっかり話し合い、事故が無いよう努めました。転倒などの事故があった場合は速やかに事故報告書を作成し、話し合い、同じミスが無いようスタッフ間で話し合う事で事故の減少に努めました

4. 虐待の予防、利用者との信頼関係の構築

虐待に関しては特に心理的虐待を意識しました。こちらの言葉遣い一つでご利用者は満足もされれば、不快に思われる方もいらっしゃいます。ご利用者としっかり会話することを心がけ、間違いが生じそうなときは第三者が介入したり、筆談、トークエイド等利用しお互いの思いをしっかりと伝えていくことでお互いに理解し合うことを意識しました。